

二国間の空輸シンポジウムで関係強化(1) *Strengthening Ties with Bilateral Airlift Exchange*

July 16, 2019

By Machiko Arita
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)7月10日、航空自衛隊入間基地で行われた二国間空輸任務交流で、離陸を待つ第3輸送航空隊第403飛行隊のC-2自衛隊輸送機。

第374空輸航空団と航空自衛隊の隊員は2日間に渡り、空輸作戦に関する戦術シンポジウムを行った。その一環として、第374空輸航空団の航空機乗組員たちはC-2に搭乗して航空自衛隊の訓練を視察し、空輸能力の理解を深めた。



1

(写真3)航空自衛隊の航空機乗組員たちと会話する第36空輸中隊C-130J教官パイロット兼作戦監督官ベンジャミン・シメルフェニング大尉。



2

(写真3)中部地方上空を飛行するC-2の機内で、航空自衛隊の乗組員と会話する第36空輸中隊フライト・チーフ兼C-130J教官ロードマスターのジェームズ・ハンツマン曹長。

同シンポジウムは、空輸作戦における戦術、技法、手順を共有し、互いに学び合い、日米関係の強化を図る目的で行われた。



3

二国間の空輸シンポジウムで関係強化(2) *Strengthening Ties with Bilateral Airlift Exchange*

July 16, 2019

By Machiko Airta
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真4) 7月10日、航空自衛隊入間基地で行われた二国間空輸任務交流(空輸作戦に関する戦術シンポジウム)で、航空自衛隊の隊員に概要を説明する第36空輸中隊作戦副監督官クリストファー・ウォルフ少佐。



4

(写真5) 第374空輸航空団の隊員の説明をノートに書き留める航空自衛隊の隊員。

第374空輸航空団が戦術空輸作戦を行うために使う特定の戦術と手法が、航空自衛官に共有された。



5

(写真6) 入間基地に着陸後、グループ写真を撮る米空軍と航空自衛隊の隊員。



6